

ストレスや悩みを抱える皆さん 相談は解決の大きな糸口です

◆年間約3万人の自殺者

社会情勢や家族構成の変化などの影響で、日本での自殺者の推移は、平成10年以降14年連続で3万人を超える高止まりの状況が続いています。さらに、自殺未遂者は既遂者の約10倍は存在すると推定されています。

県内では、平成25年度は前年よりも減少していますが、376人が命を落とされています。年齢別では60歳代が全体の17・2割の65人を占め、次いで50歳代(17・0割64人)、70・80歳代(13・2割50人)と、若年層よりも中高年に自殺が多い傾向が見られています。自殺の原因別の状況を見ても

と、「健康問題」が239人で最も多く、次いで「経済・生活問題」が60人、「家庭問題」が59人となっています。

◆悩みを相談することが第一歩

自殺者の多くは悩みを誰にも打ち明けず抱え込んでしまい、心理的な悩みを抱えながら追い込まれた末に「死」を選択してしまうと言われています。自殺を減少させるために、国や県、町でもさまざまな取り組みを実施しています。今月号は、町で取り組んでいる相談事業の一部をご紹介します。ほかに消費生活に関する相談やメンタルヘルス(精神保健)に関する相談を受け付けている機関

がありますので、1人で悩まずに、まずはお近くの相談機関へご相談ください。

◆無料で受け付ける相談窓口

【法律・行政・人権相談】

●相談日時 毎月第1月曜日午前9時～正午(祝日の場合は、翌平日に実施)

●相談会場 老人いこいの家

●相談者 弁護士、行政相談員、人権擁護委員、民生・児童委員

※相談者の氏名、相談内容などのプライバシーは厳守します。

【消費生活相談】

●相談日時 毎週木曜日午前9時～正午、午後1時～午後4時

●相談会場 老人いこいの家

●相談者 消費生活相談員

【心配事相談】

●相談日時 毎月第3月曜日(祝日の場合は、翌平日に実施)

●相談内容 民生・児童委員が、

日常生活における悩みや心配事についての相談を受け付けます。

【健康や医療に関する相談】

●相談受付窓口 町総合保健福祉センター、または町福祉課

●相談内容

・健康に関する相談を受け付け、アドバイスを行います。
・助成の対象となる病気(特定疾患など)については、医療機関の紹介なども行います。

【出産や育児に関する相談】

●相談受付窓口 町地域包括支援センター(町総合保健福祉センター内)、または福祉課

●相談内容

・出産や子育てに関する相談などを受け付け、妊娠期から継続して、母子の健康や成長をサポートします。
・ご家庭へ訪問しての相談にも応じます。

※本町に里帰り出産などをされている人も相談・訪問もできますので、お問い合わせください。

【介護や福祉に関する相談】

●相談受付窓口 町地域包括支援センター(町総合保健福祉センター内)、または福祉課

●相談内容

・介護保険や高齢者の支援について相談を受け付け、アドバイスを行います。
・介護保険法の概要や、利用のための申請を受け付けます

あゆみだよりの話

相談

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診断などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
岩永 一寿 社会福祉士

今月は、町が取り組む相談事業のご紹介。悩みや心配事は、相談することで心への負担を軽減します。町では、さまざまな相談に対応する窓口を開設しています。お気軽に利用して心を健康にしましょう。